

## 速報

# 一般社団法人全麺協 設立30周年記念式典盛大に開催

一般社団法人全麺協は、平成5年(1993年)11月に全国麺類文化地域間交流推進協議会(「旧全麺協」)として設立され、令和4年(2022年)で30年目になりました。

この節目の年に当たり「設立30周年記念式典」を次の通り開催しました。

1. 開催日時 令和5年5月27日(土)、28日(日)
2. 開催場所 富山国際会議場 住所: 山県富山市大手町1-2 電話: 076-424-5931

第1日目は、「一般公開そば大学 in 富山」として開講しました。このために全国から全麺協の会員が458名参集したほか、一般の聴講者が100名近く来場されました。そして、日麺連専務理事野澤功氏が「そばを学び、そばを知り、SOBA を楽しむ」と題して講演され、続いて全麺協理事加藤憲氏が「30年のあゆみから」という演題で講演をしました。その後、「そば打ちと社会貢献」というテーマで、苫小牧手打ちそば愛好会会長有川美紀子氏、蕎麦道場大瀬庵代表大瀬渡氏の活動発表がありました。郷土芸能の披露では、全国一に輝いた地元富山県立南砺平高等学校郷土芸能部員によるきびきびとした「麦屋節」「こきりこ」の踊り、そして越中八尾おわら保存会の皆さんによる哀愁漂う情感溢れた「越中八尾おわら節」の踊りに、会場全体が感動の渦に包まれました。総じて、全麺協の発祥の地にふさわしいそば大学講座でありました。

夕刻には会場を移し、ANA ホテルにおいて約400名参集しての交流会が開催され、北海道から沖縄まで各地から来られた会員の皆さま方が親しく情報交換をされ和気藹々の一時を過ごしました。

第2日目は、午前中厳粛の中にも和やかで格調高い「設立30周年記念式典」が執り行われました。開会宣言の後、全員で「そば道憲章」の唱和を行い、引き続いて理事長の式辞、実行委員長挨拶に続いて、ご来賓から30年の長期にわたりそばによって地域振興に貢献したこと、更に文化の普及、継承に尽力した実績に対して賞賛する祝辞をいただきました。ご来賓は、スロヴェニア共和国在日大使、韓国平昌郡可山文学宣揚会顧問、富山県知事、南砺市長、仙台市副市長、日麺連専務理事等錚々たる方々のご臨席をいただきました。午後からは、五段位、四段位認定講習会としての講義が行われ、それぞれ興味深い講義内容でした。

設立30周年記念事業としては、「そば道歩んで三十年」の表題による30周年記念誌を発行し、出席者全員に配布しました。このほか、記念の前掛け、タオル、バッチを配布して全員でこの慶事を祝い、更なる10年後の未来に向かって一步踏み出すことを誓い合う、大変意義ある記念式典となりました。